


<p>学校教育目標『生き生きした 活力のある子』</p>  <p><b>学校だより</b></p> <p><b>さいたま市立大牧小学校</b></p>	<p>平成30年度 12月号 No.420 平成30年11月30日 発行</p>	<p><b>12月の目標</b></p> <p>◎学校をきれいにしよう</p> <p>・机やロッカーの中をきれいにしよう。 ・掃除は、「もくもく・すみずみ」きれいにしよう。</p>
--	--	--

## 素敵なこのまちが好きだから

校長 間宮 和宏

### 「冬の空 針もて彫りし 絵のやうに 星きらめきて 風の声する」 与謝野晶子

日に日に日が暮れるのが早くなり、校庭の銀杏の黄色い葉も残りわずかとなるにともない、朝晩とても寒い日が続いています。明日から師走。今年も保護者の皆様、地域のあたたかい支えが、子どもたち、学校を見守っていただきました。

さて、昔から「教育は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、社会（地域）の教えで実を結ぶ。」といわれています。大牧小学校の子どもたちは、おかげさまで、家庭、地域、学校が同じ方向を向きお互い力を合わせて子どもたちの健全育成を推進していることに大変感謝しております。それは、どのように時代が変化しようとも、しっかりと身につけなければならないそれぞれの基礎基本があるということだと思います。早寝・早起き・朝ごはんなど「すくすくのび伸びキャンペーン」でうたわれていることは家庭でしかできないことがあり、声かけ、伝統行事、地域活動など、地域は地域の大切さや役割をもち、学校は、かかわりの中での思いやりや基礎学力の学び、社会性の育成など学校でしかできないことがあります。それぞれの特性を生かした力が大きく働いていますことに改めて地域の偉大さを感じています。

4月に行われた学習状況調査の地域や家庭生活に関する項目で高い数値が出ていることから大牧小学校のよさがうかがえます。地域の祭りなどの行事に参加する子どもたちの様子を見ていても、笑顔いっぱい、活気に満ちて大盛況です。子どもたちは知らず知らずのうちに地域や保護者の皆様から学び、「素敵なこのまちが大好きなんだ」と感じているのではないのでしょうか。学習の中でも地域にある公共施設などを見学したり調べたりして自分たちが住んでいる地域に対する視野が広がり、地域の人々とのかかわりを通して確かな社会性が育ってきていることも感じます。引き続き、家庭・学校・地域が手を携え、地域とともにある学校づくりを進めていきます。



ところで、大牧小学校のよさの一つに縦割り活動があります。1月30日のたっぴーカーニバルに向けて6年生を中心に各縦割りグループでの活動を考え、1年生から6年生が協力して自分たちのイベントを工夫して作りました。また、開校記念日に行われた「スマイルフェスタ」でも笑顔がはじけていました。同じグループで1年間活動をするので、上級生が下級生の面倒をよく見てくれて、すぐに仲よくなって楽しく活動している様子が各所で見られます。お互いを思いやり、自ら考えて行動する、長い間に培われた笑顔あふ

れる大牧小学校のよき伝統です。今の6年生も1年生の時には、いろいろなことを教えてもらったと思います。休み時間には、上級生が下級生と遊んでいるところもよく見かけます。これは、学年を超えて遊ぶ経験が少なくなった現代では、とても大切なことであり、大牧小の大きな特色でもありますので、是非これからも伝えていきたいと思ひます。

節目の12月、2学期そしてこの1年、いろいろな行事でがんばり力を伸ばしてきたことを振り返り、よりよく生きていこうという新年の新たな目標に向けてしっかりと節づくりをしてほしいと思ひます。

※市内のどこか一か所でも「震度5弱」以上の地震が観測された場合には、「引き渡し」を実施します。  
学校からの連絡を待たず、来校をお願いします。